

ワーキンググループの今後の進め方

- ・分野横断的技術政策の方向性について、当WGにて令和6年度1年をかけて議論いただく。
- ・本日いただいたご意見を踏まえて、中間とりまとめを9月頃公表予定

1. 今年度WGの進め方(案)

6月14日	第1回WG	○論点整理 ○委員からの話題提供 『開発をともなう技術の社会実装における課題について 一橋梁を事例として一』（春日委員）
7月4日	第2回WG	○委員からの話題提供 『技術の社会実装について(デジタル技術) ー建設業務に関する三次元データの作成、流通、管理の現状と今後の可能性ー』（須崎委員） ○異分野の有識者からのヒアリング 『スマート農業の普及に向けたクボタの取組み』（株式会社クボタ 取締役専務・研究開発本部長 木村様）
7月18日	第3回WG	○委員からの話題提供 『建設分野における技術開発の「やりよう」に関する一考察』（野城委員） ○異分野の有識者からのヒアリング 『医療機器開発について』（朝日サージカルロボティクス株式会社 取締役 最高開発責任者 安藤様） ○これまでのWGの論点整理
8月28日	第4回WG	○中間とりまとめ(案)
9月		中間とりまとめ 公表
10月～翌1月	月1回程度	国際展開、人材等をテーマに議論
今年度中		とりまとめ

2. 成果について

WGで得られた成果は、第36回技術部会(第4四半期を予定)へ報告し、次期技術基本計画に反映する。

3. 次年度以降(次期技術基本計画策定以降)

必要に応じて、WGの開催を検討する。